

### XIII 特色ある公民館活動

## 公民館まつり in 子どもフェスタ

みやこ町教育委員会  
地域活動指導員 中村 誠一

- ① 事業名 地域活性化の拠点としての公民館「子ども広場」
- ② 目的 ゆとり教育週休5日制をうけ、地域で子ども達を育て支えることを目的とする。
- ③ 事業の実施主体  
みやこ町3地区の公民館による合同事業
- ④ 連携協力団体  
勝山太鼓、犀川婦人会、地域ボランティア4団体、北九州千の風の会
- ⑤ 事業予算

収入	公民館事業費	120,000円
	バザー収益金	31,400円
支出	レクレーション保険	10,000円
	各教室の材料費	89,406円
	講師謝金	61,000円

- ⑥ 実施に至る経緯  
国の教育方針で、ゆとり教育週休5日制など子どもは地域で育てようとする活動が始まりました。社会の動きとして、アンビシャス運動は広く展開され学校区を拠点に広場が開設されております。地域の団体や住民と連携を持ちながら公民館としての役割をはたしていかなければならないと思います。

平成18年3月20日に「みやこ町」の合併を機に、犀川地区、豊津地区、勝山地区の公民館関係者で「公民館と子どものかかわり」について会合を持ち、犀川地区で合併前に行っていた「公民館まつり in 子どもフェスタ」をみやこ町の子どもを対象に開催することにしました。

- ⑦ プログラム作成の視点

「公民館まつり in 子どもフェスタ」の方向性。

- 1、年1回開催。
- 2、3地区の子ども達が一緒に。
- 3、地域のボランティアに講師をお願いし子どもとの交流を深める。
- 4、子ども達の芸達者（太鼓など）をアトラクションで参加していただく。
- 5、親子で自由に体験して一日ふれ合う。

## ⑧事業の内容

《目標》子ども達への支援として公民館と指導員や地域住民などの連携による恒久的な支援の実現を目指す。

### 1、実行委員会の設立

教育委員会と公民館、それに地域で活動されている団体や小学校の代表者で実行委員会を設立し、それぞれの役割を決めて推進して行きました。

役割	役職	場所	役割
実行委員長	公民館長	みやこ町中央公民館	事業の決定
運営委員	社会教育係	生涯学習課・職員	予算確保
	地域活動指導員	勝山地区、豊津地区、犀川地区	企画・立案
支援委員	文化協会	地域で活動されている団体	講師発掘
	婦人会/食進会		
	公民館利用団体		
	地域ボランティア		
	小学校	11の小学校	広報

### 2、事業内容

教室名	講師名（ボランティア）	スタッフ	
体験教室	竹馬づくり	職員	渡辺、課長、中村
	クリスマスリース	吉武氏	井村、久松
	押し花づくり	荒巻氏、他2名	村上
	ビーズ飾りづくり	山崎氏、他1名	浜島
	ストーンアート	西村氏、他1名	岡田
	工作・ものづくり	野田氏、他1名	末永、長尾
アトラクション	城井太鼓演奏	城井小学校	中村、井村
	マジックショー	松井氏、他1名	中村、石川
	本の読み聞かせ	ボランティアピコ、8名	中村、石川
特設コーナー	お昼の炊き出し	犀川婦人会、7名	村上、浜島、岡田
	遊び広場	職員	市岡
	バザー	職員	石川、井村、久松
	ビンゴゲーム	職員	中村、井村、岡田



## ⑨ 事業の成果

### 《参加した子ども、保護者の声》

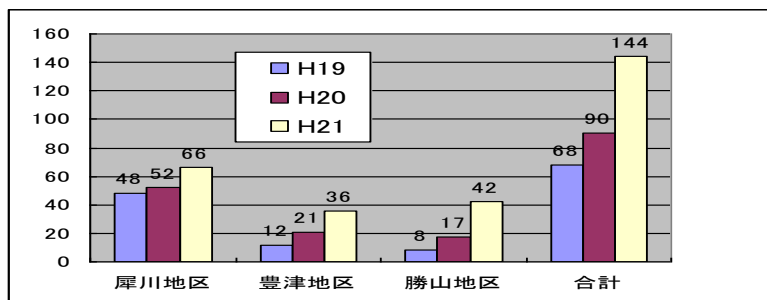
子ども達・・・朝からおばちゃん達が昼ご飯を作ってくれて嬉しかった。

色々な体験が出来て楽しかった。また来年もしてください。

保護者・・・準備が大変だったと思います。スタッフに感謝します。

講師の方・・・初めて子どもに教えた。不安だったがすごく楽しかった。

### 《過去3年間の児童参加推移》



### 《成果》

ひとつの目標であった、参加児童数が 100 名を上回ることが出来た。

開催地外からの参加が増え始めた。

地域の児童や保護者に、このイベントが根付いてきた。

公民館としての役割を果たしつつある。

## ⑩ 今後の取り組み

この公民館まつり in 子どもフェスタも 3 年目となり、ようやく軌道に乗ってきた。しかし、今後この事業を継続するには公民館の連携や地域との繋がりがなければとうてい行なえないことを実感した。この事業がこれから先も継続し実施できるような雰囲気づくりをしなければならない。

### 《今後の取り組みについて》

「公民館まつり in 子どもフェスタ」は、年間を通して様々な体験活動をしてきた子ども達の総合イベントとして今後も取り組みたい。

## 問い合わせ先

みやこ郡みやこ町犀川本庄 6 4 1 - 1 みやこ町中央公民館

電話 0930-42-1365